

## Greeting from KEIO

### 部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长 関場 武



今年もめでたく慶應義塾と早稲田のバドミントン部の定期戦が行われることになりました。まことに慶賀すべきことであります。

ご承知のように、昨年、慶應義塾バドミントン部は創部60年、早稲田は創部50年を、めでたく迎え、この定期戦も50回目を数えました。これまた、慶賀すべきことであります。これまでの半世紀にわたる定期戦を支えて来て下さったすべての方々に敬意を捧げますとともに、あつく御礼を申し上げます。ありがとうございました。そして、今後ともよろしくご支援・ご鞭撻の程をお願い申し上げます。そして、

さて、この原稿を書いている今頃、長雨と低温が続き、突如猛暑が襲うといった今年の異常気象をものともせず、両校の学生諸君は練習に励んでいることと思います。今年は例年より一月余り遅れての開催となっています。そのため、トレーニングにかかる時間も十分確保でき、試合経験も積み作戦も練れたはずで、選手諸君はどうかその成果をこの伝統ある定期戦で十二分に発揮し、諸君の先輩達がそうであったように、臆することなく手を抜くことも無く、正々堂々と戦いきってほしいと思います。そして、コートに立つ人も立たない人も、裏方を務める慶應義塾女子高等学校の生徒諸君も、また勿論、当日応援に駆けつけて下さるOBの方々も、共にバドミントンが出来る幸せを噛み締め、一緒になって定期戦を盛り上げて行って下さい。申すまでも無く今回は第51回という、後半世紀のスタートとなる記念すべき定期戦であります。是非ともよろしくお祈りします。

末筆となりましたが、今回、我が慶應義塾体育会バドミントン部は、部長も、また、三田バドミントンクラブ会長も交代致しました。伝統の一戦の名を汚さぬよう微力を尽くす所存でありますので、早稲田大学の皆様、どうかよろしくお祈り申し上げます。

### 会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 小杉良雄



昨年は早稲田大学バドミントン部創立50周年、又早慶バドミントン定期戦第50回目の記念すべき年でした。今年は本定期戦もいよいよ第51回の新しい夏に入ることになります。正直いって現在の早稲田と慶應の力を比べますと男女共に大きな差があることは否めません。特に大学男子は残念ながらここ12連敗を重ねています。今年も旗色は悪いでしょう。

しかしながらこの伝統ある早慶戦の舞台は慶應の現役は勿論OBにとってもやり甲斐のあるそして見甲斐のある大事なイベントです。特に慶應の現役選手諸君は己より力の上の早稲田の選手にこの際力一杯挑戦し、一戦でも多く勝利して欲しいと切に願っています。又同時にこの独特な雰囲気のある早慶戦を通し、両校現役諸君は貴重な体験と思い出を、稲門並に三田両クラブOB諸氏は一層の交流を持れば意味ある一日となりましょう。そしてそれらが次回の早慶戦（できれば大接戦）につながって行けばと期待しています。

## Greeting from WASEDA

### 部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长 加藤 勇



平成15年、早慶バドミントン定期戦も51回目となりました。早慶のOBの皆様には、いつも変わらぬご支援大変感謝しております。

今年は天候不順で冷夏となり、不作の年となりましたが、選手諸君は夏休みの間に合宿、練習を通して、おおきな収穫を上げたことと思います。

いかなる道を進むとしても、その道を極めることは大変なことです。道の先には必ず壁があります。この壁を乗り越えるときさらに壁が立ちはだかるものです。この壁をどうにかして乗り越えて、先に進まなければなりません。そして勝利に喜び、また敗北に泣くこともあります。

大学4年間を通して、さまざまな壁を乗り越え進み続けて下さい。鍛錬に修練を重ねて、より多くの勝利に欢喜しましょう。これは、諸君が社会に出て各々の人生を進んで行く上で、必ず役に立ちます。

### 会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 菊地利明



平成14年この早慶バドミントン定期戦も50回を終了し、一つの節目を越え、新たな半世紀に一步を踏み出しました。しかしながら、この春季リーグ戦は、我が部は、残念ながら男子が、長年守ってきた一部リーグを確保出来ませんでした。この定期戦をテコにして復活を期待します。今、大学のスポーツは多岐に亘り、伝統ある部もその存続すら大変になっている時期ではありますので、我々OB・OGとして出来る限りの援助、応援を考える時期であると思います。

本年は開催日がずれそうですが、いずれにしても、秋の早慶定期戦はシーズン開始のメインイベントですので、OB・OGの諸君も大勢参加して、現役選手を大いに盛り上げて下さい。最後に、当クラブの会長をお役にたたぬまま津田会長の後、長い間お受けして参りましたが、本年で交代させて頂くことになりました。

両校の皆様には長い間御世話になり、厚く御礼申し上げます。尚、今後もOBの一員としてよろしくお願い致しますと共に、今年も両校の大いなる健闘をお祈り申し上げます。

数々の名勝負が繰り広げられ、多くのドラマを生み出してきた伝統ある慶早バドミントン定期戦が、今年もまた無事例年通り開催されることを、心よりお喜び申し上げます。

慶早戦とって思い出されるのは、独特の雰囲気の中、慶応という看板を背負い、自分の力を思う存分試すことのできる喜び、そして早稲田諸君との交流であります。去年の最後に行われた主将戦は今でも鮮明に思い出されます。勝つ喜び、負ける悔しさ、一打一打の羽根の重み、応援の有難さを痛感しつつ、バドミントンを楽しむことのできる最高の舞台が慶早戦であると言っても過言ではありません。私の4年間の戦績は4勝4敗と勝ち越すことはできませんでしたが、「勝つこと」だけでなく、慶早戦での全ての経験は何物にも代え難い貴重な財産として自分の中で輝き続けております。

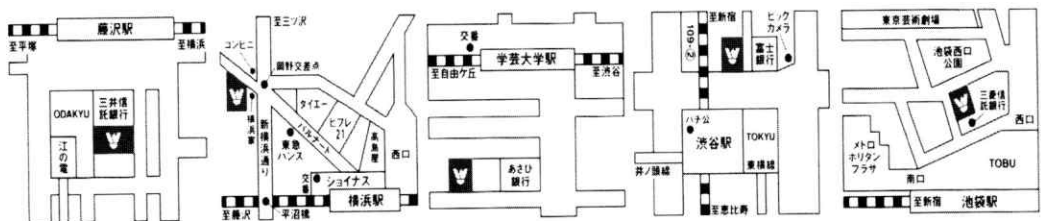
現役の皆には、勝負である限り勝ちにこだわり、堂々と、そして気合の入ったすばらしい試合を期待します。何が起こるか分からないのが慶早戦です。今年こそは慶應の底力を見せ連敗を止め、勝利の美酒を共に味わい、今後の試合への弾みにして行ってほしい。

また、よき伝統あるコート外での交流、世代を越えた交流も十分に深めてもらいたいと思います。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、すばらしい大会になるよう両校の選手に御健闘をお祈り申し上げます。

# KEIO VS WASEDA

## バドミントンショップ ウエンブレ



**FUJISAWA**  
0466-26-7272

**YOKOHAMA**  
045-317-5959

**GAKUDAI**  
03-3716-2626

**SHIBUYA**  
03-3409-6622

**IKEBUKURO**  
03-5952-7070

今年も早慶両校の現役、OBが一同に会して競い合う早慶戦がやってきました。この伝統ある定期戦も昨年、節目の第50回を無事終了し、今年は第51回ということで新たな第一歩という感じがいたします。私も監督として心新たに戦っていきたいと思います。また、今年も監督として戦えることに感謝するとともに大変光栄であり嬉しく思います。

今年の我が部は関東学生春季リーグ戦において男子は6位に終わり、入替戦にも敗れ、2部降格となってしまいました。しかし、部員一同は一丸となり、1部昇格に向けて励んでいます。女子においては1部入りして2年目になりますが、相変らず、少数精鋭で頑張っております。春の5位という結果は着実に力を付けてきた証拠と思っています。男女とも、秋のシーズンには必ず良い結果を残せると信じておりますので期待してください。

今年の定期戦も全員で一丸となり慶應に臨み、是非勝利をものにしたいと思えます。しかしいつも独特の雰囲気の中で行われる早慶戦は過去いくつもの名勝負が実力を超越したところで勝敗がついて来ました。選手諸君には今年も気合い負けせず、日頃の練習の成果を充分に発揮し早稲田らしく悔いのないプレイを見せてほしいと思います。特に稲垣、二宮、高松、田辺には学生最後の定期戦として後輩達の見本となるよう全力をつくして必ず勝利してもらいたい。そして、良き思い出をつくってください。

最後に、今年も慶應の現役、OB諸氏と共により良い試合を展開し、より両校の友好が深まることを望みます。

## WASEDA KEIO

### 祝 早慶定期戦

各種記念ペナント調製

マーク・ワッペン・旗・腕章

# オギワラ

〒160 東京都新宿区西早稲田 1-8-24

早大東門前大隈通り

TEL 03 (3202) 7 8 4 6

FAX 03 (5273) 8 2 8 5

慶應義塾大学法学部 昭和55年卒

## 木村 徹

私が早慶戦に初めて出場したのは、今からもう28年も前の、大学一年の時である。遙か昔の事ではあるが、まるでビデオでも見ているかの様に、記憶が甦ってくるから不思議である。入部当初、ごく普通に思えた部内の練習が、早慶戦が近づくに連れて、先輩方の目付きが変わり、普段みせた事の無い真剣な態度（失礼しました）で、早慶戦の出場を賭したバトルを繰り広げているのです。

私も何とか出場したいという目標を持って臨み、運良く出場が決まって、いざ本番！

その一種独特の異様なムードに押され、緊張で思う様なプレーが出来ず、ミスが連発。これは対戦相手の亀谷君にとっても同じだった様で、お互いにミスが目立ち、ややレベルの低い試合だったと記憶しています。結果は、日吉記念館での開催という地の利も手伝い、幸運にも勝つ事が出来、最優秀新人賞も戴く事が出来ました。しかし、その後の私は何か目標を見失ったまま、ただ漠然と日々の練習や、試合をこなしているだけだった様に思います。高校時代の様に、インターハイ出場という明確な目標を持たないまま、大学4年間を過ごしてしまったという後悔があります。

そこで現役諸君に言いたいのは、まず目標を持つ事、そしてその目標に向かって、自分に正直に日々努力を重ねてほしいという事です。どこかの偉人の言葉を借りれば、「正直な最良の方策」・「忍耐は苦し、しかれどもその実はあまし」という言葉がありました。現役諸君が大きな目標を持ち、自分の甘さに屈する事なく地道に努力してほしいと願っております。そしていつの日か、大きな実を結ぶ事を期待しています。

最後に両校の選手諸君に、「奢るな」。「臆するな」。「諦めるな」という言葉を贈ります。

KEIO

早慶  
戦に  
寄せて

WASEDA

慶應義塾大学 法学部 平成15年卒

## 永島由紀子

第51回早慶戦定期戦の開催、心よりお慶び申し上げます。

私も昨年まで現役としてこの試合に参加させて頂いておりましたが、今やバドミントンをする機会も減り、日々体を触む体脂肪の侵略に脅える日々です。

私の早慶戦の記憶では、正直、一年生の頃はその重みを十分に理解できぬまま試合の日を迎え、当日はある種宗教的とすら言えるその雰囲気驚いてしまいました。アップ前の集合の時、アップでも早稲田に負けぬようにと当時の主将石田さんがおごそかな顔で言われた、「ここからもう早慶戦は始まっている。」という熱い台詞は今もはっきり耳に残っています。その年は負けてしまいましたが翌年は女子15年ぶりの勝利、しかも5-0完勝は18年ぶり、これだけでもバドミントンをやってきてよかったと思えるほど嬉しい勝利でした。後日の早慶戦勝利者が招待される塾長招待会で、塾歌を歌いつつ見上げた三色旗は今までになく荘厳な表情をたたえており、自分の選択に間違いはなく、塾体育会に入って本当によかった、と感じたのを覚えております。三年では負け、四年で「勝って東天紅（塾長招待会の会場）に戻ってこような！」と女子部員と熱く誓いをたてて挑むも力及ばず、東天紅への凱旋は成りませんでした。ダブルスでは競るもののファイナルで敗れて相当に悔しく、レセプションで沢山の人に慰めて頂き、嬉しいやら情けないやらでほろほろ泣いてしまいました。今では泣けるほどに部活に打ち込み、突き進んでいた自分を誇りに思えます。社会の厳しさに触れ、自分を奮い立たせたい時も心のテーマソングとして聞こえてくるのは、あの日部員と肩を組んで歌った若き血です・・・

引退して1年経ちましたが、早慶戦に参加できたことを本当に幸せに感じ、貴重な経験をできたこと、多くの方々に支えられたことに感謝の言葉しかできません。定期戦や交流試合を行う大学は多くありますが、早慶戦の重みは唯一無二のものだと感じます。「早慶戦」は固有名詞でありながらその伝統の権威は広く世間にも認知されております。しかしその早慶戦に実際に参加できるのは体育会で日々切磋琢磨してきた者のみです。現役は、レベル面で厳しい事多々あると思いますが、早慶戦に参加できることを誇りに思っ戦ってほしいと思います。私はもともと教えられれることはなく、今は日吉に行ってできることは練習後にビールを注いであげることでぐらいい何もできませんが、応援しています、頑張ってください。

最後になりましたが、両校バドミントン部の更なる発展と定期戦の成功を心よりお祈り申し上げます。

早稲田大学商学部 昭和37年卒

## 井垣 和太

第51回早慶バドミントン定期戦の開催を心からお慶び申し上げます。

私が在学の時期は第6回（昭和33年）から第9回までの4年間でしたが、開始以来の連敗続きで何とか慶應さんに追いつき追い越せないものかとOB・現役がひとつになって練習したものでした。リーグ戦も2部からようやく1部復帰を果たし、その勢いを駆って第9回の早慶戦では7-8という今一步で初勝利というところまで来ました。そして翌年も最後の主将戦での決着に持ち込み、その後13連勝に繋がる地歩を固めた時代であったと自負しております。

50回の定期戦を振り返るとき、誰もが自分が在学していた4年間でまず語ることにしたいと思います。そしてバドミントンという競技を通じて多くの先輩や仲間それに永遠のライバルでかつ無二の親友でもある、慶應の皆さんとの交流が学生生活の幅を広げ、社会に出てからも有形無形の財産として役立っています。私は今でも「早稲田大学バドミントン部卒業」と言って憚りません。

世に定期戦・対抗戦の類は星の数ほどあるわけですが、「早慶戦」という言葉は独特の意味を持って鼓膜を振るわせ、目を引かせるものがあります。ましてや、自分が当事者であれば、何十年の歳月を経ようとも、「慶早戦」の言葉によって瞬時に青春時代のあの舞台へ連れ戻して呉れるものがあります。

50年を越え、新たな半世紀への歴史を刻み始めた早慶バドミントン定期戦ですが、何勝何敗という戦績のみでなく、連綿と受け継がれてきた先輩から後輩へのタスキを、今年も絶える事無く引き継いで、コートいっばいに日頃の成果を披露しあえる幸せをこそ、両校部員の諸君は噛みしめるべきではないでしょうか。

第51回の定期戦の成功と両大学バドミントン部の更なる発展を祈念申し上げます。

WASEDA 早慶戦に寄せて KEIO

早稲田大学人間科学部 平成14年卒

## 板倉 正弥

早慶バドミントン定期戦が第51回大会を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

今年もまた両校の雌雄を決する時期がやってきたのだと、今この原稿を書きながら実感しております。昨年50回という節目の年を迎え、今年からさらに100年に向けた歴史が刻まれようとしております。現役生のみならず、OB・OG、これからの若人たちが良きライバルとしてまた良き友人として交流を交わすこの定期戦の開催を毎年楽しみにしております。

私から早慶戦をとったら何が残るだろう。そんな思いさえするほどに現役4年間におけるこの交流の持つ役割は大きいものでした。初めて応援部の応援を背に受け、両校の伝統の重さを肌で感じ、体の底から湧き上がった興奮は忘れようもありません。また、春秋のリーグ戦とは全く異なる異様な緊張感と1つのミスが取り返しのつかないことのように思えた重苦しい空気、早慶戦であげた勝利はその後の私のプレーに大きな影響を与えました。

近年、早稲田優勢の大会が続いておりますが、栄枯盛衰いつまた逆の立場になるとも限りません。また私のような推薦組でない者にとっては約束された勝利などはなく、必死に一勝をもぎ取らなければなりません。OBになり後輩たちの熱戦を見るにつけ、自分の現役時代の戦いを思い出し、新たなバドミントン熱がふつふつと沸いてくるものです。今年もまた熱い戦いが繰り広げられることを期待し、会場へ足を運びたいと思います。

現役諸君には早稲田・慶應のバドミントン部の学生として早慶戦を経験できる喜びを感じ、悔いのない全力のプレーをしてほしいと思います。そして大いに酒を酌み交わし生涯の友と交流をはかってください。

最後になりましたが、第51回早慶バドミントン定期戦開催にあたりご尽力くださった両校の関係者の方々に厚く御礼申し上げ、定期戦の成功と両校のバドミントン部の更なる飛躍を心よりお祈り申し上げます。

慶応義塾大学 環境情報学部 平成15年卒（前年度主将）

## 田添 亮

数々の名勝負が繰り広げられ、多くのドラマを生み出してきた伝統ある慶早バドミントン定期戦が、今年もまた無事例年通り開催されることを、心よりお喜び申し上げます。

慶早戦とって思い出されるのは、独特の雰囲気の中、慶応という看板を背負い、自分の力を思う存分試すことのできる喜び、そして早稲田諸君との交流であります。去年の最後に行われた主将戦は今でも鮮明に思い出されます。勝つ喜び、負ける悔しさ、一打一打の羽根の重み、応援の有難さを痛感しつつ、バドミントンを楽しむことのできる最高の舞台が慶早戦であると言っても過言ではありません。私の4年間の戦績は4勝4敗と勝ち越すことはできませんでしたが、「勝つこと」だけでなく、慶早戦での全ての経験は何物にも代え難い貴重な財産として自分の中で輝き続けております。

現役の皆には、勝負である限り勝ちにこだわり、堂々と、そして気合の入ったすばらしい試合を期待します。何が起こるか分からないのが慶早戦です。今年こそは慶應の底力を見せ連敗を止め、勝利の美酒を共に味わい、今後の試合への弾みにしていってほしい。

また、よき伝統あるコート外での交流、世代を越えた交流も十分に深めてもらいたいと思います。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、すばらしい大会になるよう両校の選手に御健闘をお祈り申し上げます。



「歴史と伝統」!! 手作りの店  
部員会に! 其の他のパーティーに!

山 食

慶応義塾三田キャンパス内  
TEL 03(3453)5971

昨年度主将挨拶 平成15年卒

### 三上 紘由

早稲田と慶應が一年に一度会するこの伝統ある早慶バドミントン定期戦が、今年もまた無事例年通り開催されることを嬉しく思うとともに名勝負が展開されることを非常に期待しております。

早慶戦といって最初に思い出されるのは、リーグ戦やインカレとは違ったその独特な雰囲気、盛り上がり、慶應の諸君と試合上での交流です。去年の最後に行われた主将同士のシングルは特に今でも鮮明に思い出されます。もちろん勝利を目指して試合を行っていたわけですが、ただ「勝つこと」それだけではなく、他の試合で感じることもできない「何か」が早慶戦の中にはあったと思うのです。また、レギュラーとレギュラーでないものが一緒に団体戦を戦い、ともに勝利のための奮闘することによってチームにより一層の結束が生まれました。

昨年の早慶戦は東日本インカレと秋季リーグ戦やインカレとの間に開催されて非常に慌しい中での試合ではありましたが、この早慶戦での勝利が次に続く秋季リーグ、インカレへのステップであったように思われます。早稲田・慶應両校の後輩諸君には実力を遺憾なく発揮し、また次に繋がるプレーを披露してもらいたいと思います。

そして、試合後の「酒」においてももちろん同様です。早慶の交流を深め、かつ互いに負けずに十分に飲み合ってください。

最後になりましたが、今大会を運営なさるの方々に感謝し、すばらしい大会になるよう御健闘をお祈り申し上げます。

WASEDA

早慶戦  
に  
寄  
せ  
て

KEIO

早稲田  
源兵衛  
3232  
六六三五

人ぞ知る早稲田の  
名物源兵衛の  
焼酎と  
シューマイの味



今年も慶早バドミントン定期戦を迎えることになりました。本年で51回を数えるこの伝統ある大会に慶応義塾の主将として出場できることに最高の名誉を感じるとともに、責任の大きさを強く感じる次第であります。

今春、我が慶応義塾体育会バドミントン部は、情熱あふれる新入部員を迎え、森下監督のもと少人数ながら活気あふれる練習に汗を流してまいりました。しかしながら、秋リーグでは男子、女子ともに3部5位という非常に不甲斐ない結果に終わってしまいました。しかし、この悔しい結果があるからこそ、4年生は学生最後の試合として、3年生以下は来シーズンでの飛躍のための布石として、この慶早バドミントン定期戦へかける思いは大きく、日々、努力している次第であります。

早稲田の諸君、お互いに日頃の練習の成果を発揮すべく、全力を尽くし、最高のプレーをしようではないか。そして、我々の戦いを、またひとつ慶早の歴史に深く刻もうではないか。

今年こそ、慶應の飛躍した姿を、熱い塾生魂をお見せします。

最後になりましたが、常日頃から我々を気にかけて、応援し、支えて下さっているOB・OGの皆様には厚く御礼申し上げますとともに、第51回慶早バドミントン定期戦が無事開催されることを願って、主将抱負とさせていただきます。

## KEIO VS WASEDA

スパゲッティ&ハンバーグ

レストランマリーナ

AM.10:00~PM.8:30

定休日 日曜・祝日

横浜市港北区日吉2-2-10

TEL045-563-9870



今年も早慶バドミントン定期戦を迎えることになりました。本年度で51回を数えるこの歴史ある大会に主将として出場できることに最高の名誉を感じるとともに主将として我が部の勝利をもたらさなければならないという責任感を強く感じる次第であります。

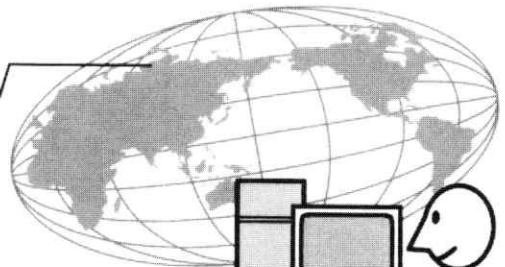
さて、我が早稲田大学バドミントン部は、今年の春季リーグ戦では男子は1部6位・2部降格、女子は1部5位と残念ながら十分な成績を取ることができませんでした。しかし、この春リーグの屈辱をバネに厳しい練習を積み、秋のシーズンに向けて体力的にも精神的にも技術的にも確実に進歩したものと確信しております。この伝統ある早慶戦において勝利を取め、さらなる目標に進んでいきたいと思っております。

慶應の諸君、お互いに日ごろの練習の成果を十分に発揮し、正々堂々と個々の納得いくプレーをして、この伝統ある早慶戦にふさわしい最高の試合をしようではないか。

最後になりましたが、常日頃から応援激励していただくOB・OGの皆様に厚く御礼申し上げ、第51回早慶バドミントン定期戦が無事に開催されることを願って、主将抱負とかえさせていただきます。

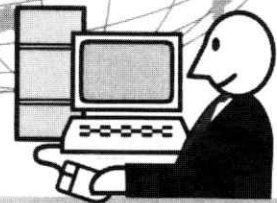
## WASEDA VS KEIO

世界にはばたけ!  
がんばれ早稲田!



# ESPA

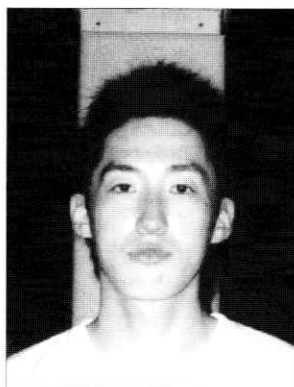
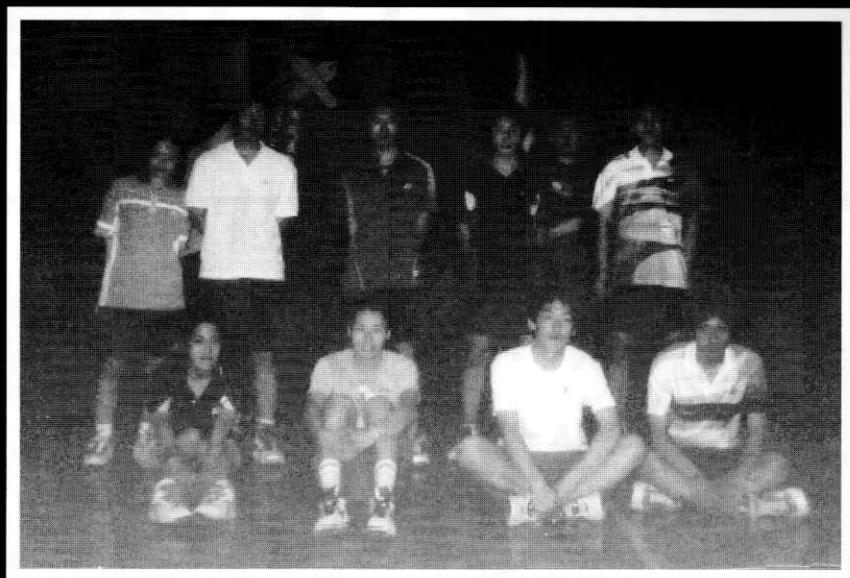
株式会社エスパ



〒130-0026 東京都墨田区両国 3-21-16 両国中屋ビル8F  
TEL 03-5624-7231 FAX 03-5624-7232 URL: <http://www.e-space.ne.jp/espa/>  
ナレッジポータル構築システム『InfoStep』 URL: <http://www.infostep.net>

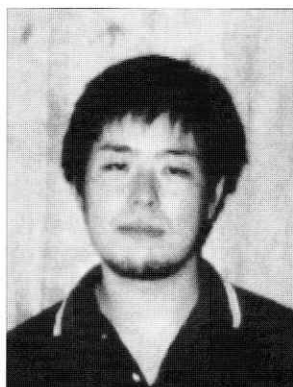
代表取締役 細村悦子  
(S60年度卒)

# KEIO



主将  
落合 惇  
商4 桐蔭学園

近年稀に見る真面目(?)主将。「慶應の鑑」として日々正しい慶應のイメージを世に広めている。



副将  
渡邊 渉  
商4 県立浜田

全ての勝負事において、何かを賭けると、とてつもなく強くなる彼。きっと今年も何か賭けるはずだ。



朽見 太郎  
文4 海城

オフ以降、絶好調の彼。4年間の集大成の咆哮が、記念会堂を震撼させる!? みんなで叫ぼう「イッエース！」



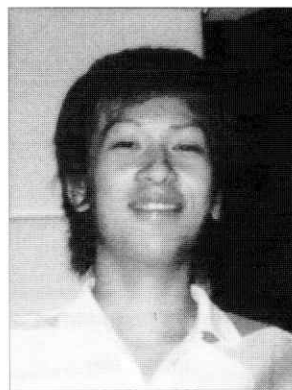
佐倉 千絵  
理4 市立千葉

とうとう部内筋肉番付で4連覇。そのパワーの源はホ○ダのエンジンであることが最近明かされた。



野村 由貴子  
環境4  
精華女子

「不動の女王」として4年間君臨した彼女だが、最近後継者選びに頭を悩ませているらしい。



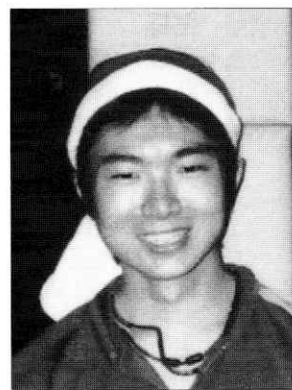
松下 光旗  
理3 長崎東

早慶戦でライバルがいなくなった後も更なるスピードアップを目指している彼。現在挑戦者募集中!?



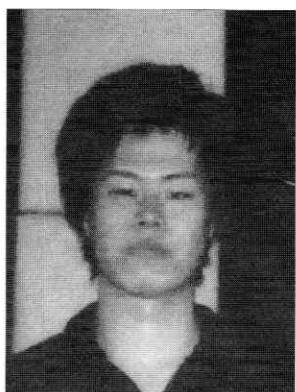
吉岡 達循  
環境3  
渋谷幕張

コート内を所狭しと動き回る彼は、U18の女性を見ると疾風の如き速さを見せ、距離を詰めるという。



坂根 洋介  
法2 公文国際

怪しい言動で周囲とは隔離された空間を構築する彼。昨年のウルフはマニアであることをカミングアウトした。



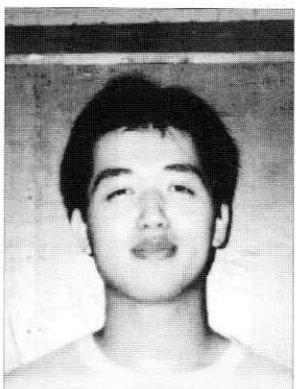
森 祥広  
商2 半田

後輩ができて生き生き(?)してきた彼。しかし、1, 2年の男子の中では最も若い…。



小粥 貴善  
理1 滝

初心者の彼だが、めきめき上達中。がんばりすぎて腰の骨を折ってしまった逸話を持つ。必殺技はガンつけ!?



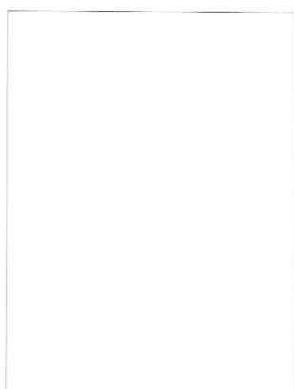
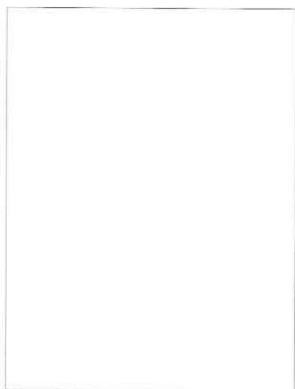
広田 崇  
理1 東北学院

プレー、言動、行動、ダイエットに近年稀に見るポテンシャルを見せつけている彼。ほんと痩せました。



光谷 沙知  
看護1  
立教女子

バド部初の看護医療学部。個性派揃いの1年生の影の支配者という噂もある彼女はなかなかのパワー派である。



# WASEDA



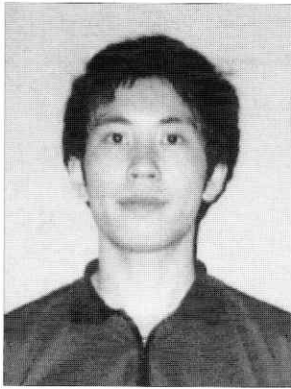
主将  
稲垣 翔悟  
人科4 比叡山

チームの大黒柱で部員の中で一番の信頼を受ける。彼の活躍で早稲田が変わる…。



副将  
二宮 和敬  
社学4  
高松商業

バドミントン愛より阪神愛の方が強い彼。阪神優勝が確実な今年、彼にも栄光はやってくるのだろうか？



主務  
高松 弘樹  
法学3 富山

早稲田バド部の頼れるお兄さん。プレーでもパートナーをリードし、お兄さんっぷりを見せてくれるだろう。



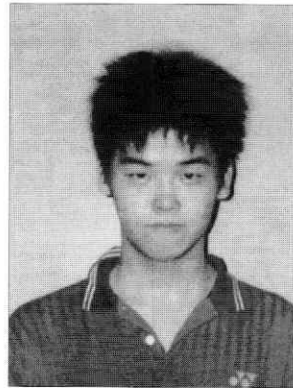
田辺 理絵  
社学4  
九州国際大付属

みんなに優しく思いやりいっぱい天然キャップ。大学最後の年、有終の美を飾ってほしい。



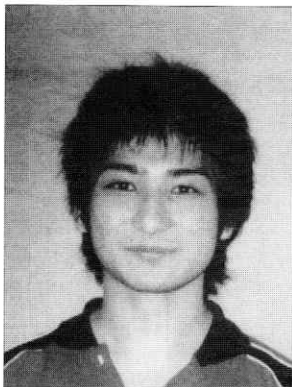
槇野 貴行  
人科3  
常総学院

線は細いがダブルのテクニシャン。パートナーからお肉を分けてもらった方が良くと思う…



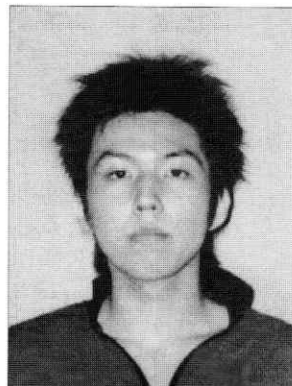
藤巻 光善  
社学3 星陵

粘るプレーの中でトリッキーなクロスネットは出せるのだろうか？



川合 光  
教育3  
国学院久我山

次期主務の彼。必殺クロスファイヤーは炸裂するのだろうか？



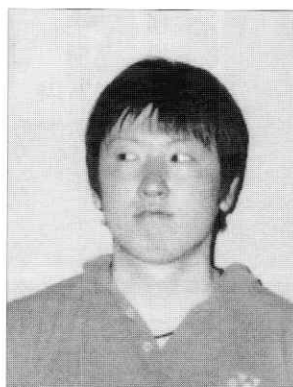
長戸 亮祐  
政経3  
高知学芸

プレーに対するイメージが高い彼。いつの日かその高いイメージが現実になりますように…



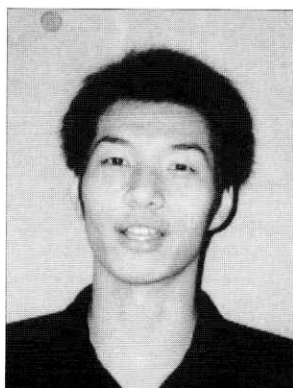
橋本 明奈  
人科3  
埼玉栄

チームの裏番長でありチーム一の爆弾スマッシュを放つ彼女。スマッシュでどんな敵でも粉碎する。



佐藤 孝一  
社学2  
関東第一

昨年よりは体重は落ちたが、見た目はあまり変わっていない。バドの実力よりまずはやせよう。



桂 秀典  
社学2  
八代東

でかいだけが取り柄の彼だが、上からのショットは目を見張るものがある。



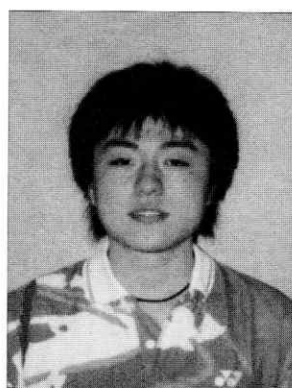
広岡 まり香  
人科2  
埼玉栄

日々の練習を怠らない彼女。昨年よりも強さに磨きがかかっている。



高草木 裕子  
社学2  
桐生市立商

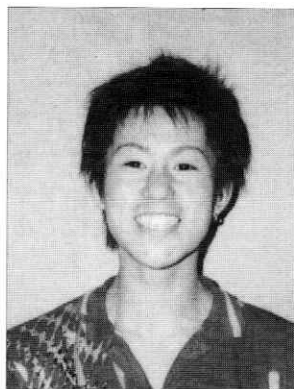
女子唯一のサウスポー。左から繰り出される独特のコースにビックリ。



菅野 俊助  
スポ1  
帝京安積

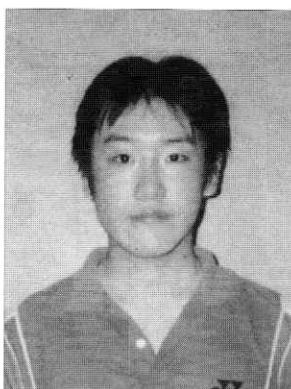
チキンと言われ相当へこんでいたが、日々毛が生えてきて成長している。目指すはニワトリだ！





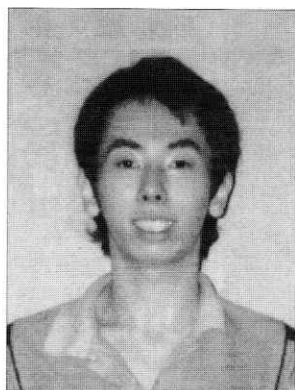
酒井 宏治  
社学1  
関東第一

K.S.先輩の悪いところばかり見習っている彼。早稲田一の小悪魔。でもプレーはひたむき!?



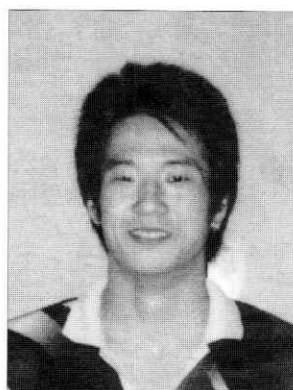
芳賀 涼  
スポ1  
仙台第三

実力はあったがそれを秘めていた彼。早稲田に来て活躍している。



長谷部 悠  
人科2  
実践学園

早稲田一番の人気者。誰かにそっくりなのをわかるかな?



岩崎 良彦  
政経1  
早大学院

帰国子女の彼。「ファイト」の声もしっかり発音している。



石谷 育司  
スポ1  
高知学芸

バドミントン大好きな彼。試合でも活躍し、バドをもっと好きになっただろう。



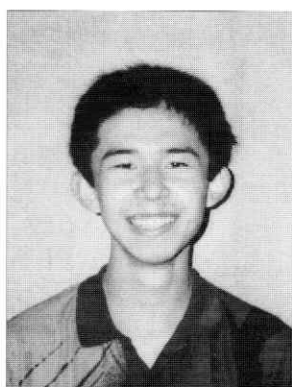
津野 友也  
スポ1  
高知学芸

高校でIHに出場した彼。早稲田に入ってバドミントンの厳しさを知った。ありえねー。



山口 翔  
理工1  
盛岡第一

一人暮らしに慣れなくてホームシックにかかっていた彼。バド仲間もできて楽しい人生を送っている。



小瀬 俊介  
理工1 斐太

入部は遅れたが、実力はかなりのもの。サッカーの主役である。



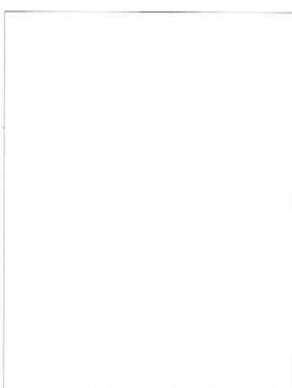
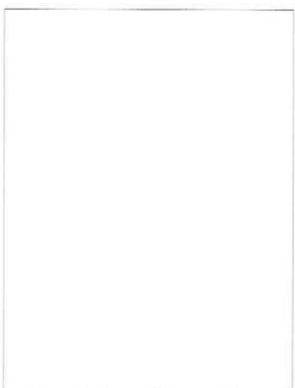
清水 陽子  
スポ1  
常総学院

納豆大好きな茨城っ子。納豆パワーでダブルスの女王を狙っている。



石渡 圭  
教育1 千葉東

最近入部した彼女。これからの彼女の成長に來たいしたい。



# MEMBER

慶應義塾高等学校メンバー



部長	遠藤 耕一				
副部長	宇佐美 徹				
主将	手塚 純平	出身中学	赤塚第二中学校	学年	3年
副将	星野 翔		今井中学校		3年
	小林 知弘		調布第七中学校		3年
主務	芹澤 美知太郎		慶應義塾普通部		3年
副務	正木 大造		篠原中学校		3年
部員	渡部 契太		お茶の水女子大附属中学校		3年
	黒住 卓史		調布第一中学校		3年
	柳澤 学		慶應義塾普通部		3年
	山根 鉄平		小岩第一中学校		3年
	三村 悠貴		大野南中学校		3年
	丹羽 大樹		文京第十中学校		3年
	土谷 宗弘		一橋中学校		3年

# MEMBER

早稲田大学高等学院メンバー



部長	工藤 准司			
	関 達也			
主将	田宮 敬祐	出身中学	本郷台中学校	学年 3年
副主	将 稲月 遼		狭山台中学校	3年
会務	計 峯尾 奨		陵南中学校	3年
部員	鈴木 孝章		東村山第四中学校	3年
	新宿 仁洋		フランクフルト日本人国際学校	3年
	有竹 真人		東村山第二中学校	3年
	西沢 和希		本郷台中学校	2年